

取扱説明書 LG UltraGear™ Gaming Monitor (LEDモニター*)

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管 してください

24GL650 24GL65B

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用したLCD 製品です。

www.lg.com/jp

Copyright © 2018 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

目次

ライセンス3	モニターの接続	15
オープンソースソフトウェア通知 情報4	- PCに接続する HDMI接続 DisplayPort接続 - AV機器の接続	
組み立てと準備4 - サポートされているドライバーとソフトウェア	HDMI接続 ヘッドホンを接続する	
- 製品とボタンの説明5	ユーザー設定	18
OSDジョイスティックの使用方法 - モニターの持ち運び6	- メインメニューの表示 メインメニューの機能	18
テーブルへの設置 スタンドの高さの調整 見やすい角度に調整する	- ユーザー設定 Menu設定	20
ピボット機能 ケーブルの整理方法	困ったとき	30
ケンジントン (Kensington)ロック	製品仕様	33
壁掛け金具を取り付ける	- 工場出荷時モード	
壁への取り付け	- HDMIタイミング (動画) - 電源LED	

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jpを参照してください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、http://opensource.lge.comをで参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保 障責任がないという表示をダウンロードできます。

また、LGエレクトロニクスから有料にてCD-ROMのオープンソースコードを提供しております。料金にはメディアの代金、配送料、手数料などを含みます。ご利用の際は、opensource@lge.comまでメールでお問い合わせください。

本サービスは製品の最後の発送から3年間有効です。本情報を受け取られた方はどなたでも本サービスをご利用いただけます。

組み立てと準備



注音

- ・製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- ・付属品以外の使用による破損や負傷は、保証の対象外になります。
- ・弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり画像に ノイズが発生する場合があります。
- 本書のイラストは一般的な手順を図解したものであり、実際の製品とは外観が異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。製品が 故障する可能性があります。

- ・ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。
- ・モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- ・本製品の外観に波紋のパターンが見られるときがあります。これは一般的なコーティングと異なり、真珠を原材料に添加することで生じるデザイン上の特性で、耐久性を高める為の処理です。製品の性能には影響しませんので、安心してご使用ください。



- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

最新のバージョンをLGEのウェブサイト(www.lg.com/jp)からドンロードやインストール することができます。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位
モニタードライバー	推奨
OnScreen Control	推奨

製品とボタンの説明



OSDジョイスティックの使用方法

OSDジョイスティックを指で押したり、前後左右に動かすことで各種機能を簡単に操作できます。

基本機能

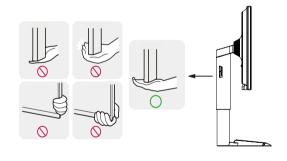
	७	電源オン	OSDジョイスティックを指で押すと、 モニターの電源がオンになります。	
		<u></u>	電源オフ	OSDジョイスティックを指で押し続 けると、モニターの電源がオフにな ります。
		音量コント ロール	OSDジョイスティックを左右に動かす ことで音量を調整できます。	
	▲/ ▼	画面の 明るさの 調整	OSDジョイスティックを上下に動かす ことで画面の明るさを調整できます。	



- OSDジョイスティックはモニターの底面に付いています。
- OSD: On Screen Display (オンスクリーンディスプレイ)

モニターの持ち運び

- ・モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や破損を防いで安全に輸送できるように、形状やサイズに関係なく、以下の指示に従ってください。
- ・モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材を使用してモニターを運ぶこと をおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り 外してください。
- ・モニターのフレームの側部および下部をしっかり持ち、液晶パネル(画面)には 触れないようにしてください。





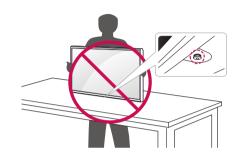
- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- ・モニターを運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたり しないでください。



- モニター画面には触れないでください。
- 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。

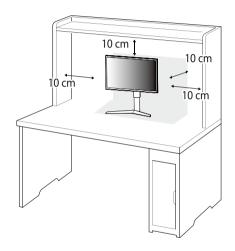


・モニターの底面にはOSDジョイスティックがあるため、スタンドを使用しない とモニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはケガの原因となりま す。また、OSDジョイスティックが破損するおそれがあります。



テーブルへの設置

・モニターのを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。 十分な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm 以上の空間を空けて設置してください。

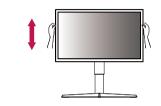


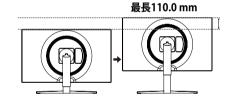


- ・モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のお それがあります。
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用して下さい。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- ・製品パッケージ付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

スタンドの高さの調整

- 1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)





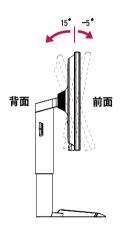




・ 画面の高さを調整するときに、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

見やすい角度に調整する

- 1 スタンドに取り付けたモニターを直立させた状態で設置します。
- 2 画面の角度を調整します。 画面の角度は、快適に見られるように-5°~15°の範囲で前後に調整できます。





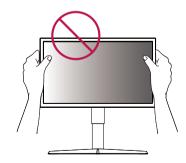
・ 画面の角度を調節するときは、スタンドベースとモニター本体の間に指や手 を置かないでください。はさんで負傷をする恐れがあります。





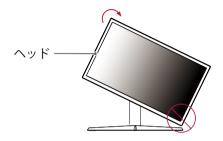


・画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整してください。画面の パネルには触れないようにしてください。



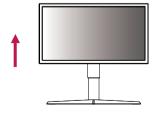
ピボット機能

ピボット機能により、モニターを時計回りに90°回転できます。



A 警告

- ・ピボット機能を使用してモニターを回転する際は、製品が傷つかないよう、 スタンドベースとモニターが接触しないように注意してください。
- 1 モニターの高さを一番上まで上げます。



2 イラストのように、モニターが上を向くように角度調整します。



3 モニターを時計回りに回転します。



4 モニターを90 度回転させて、角度、高さを調整します。

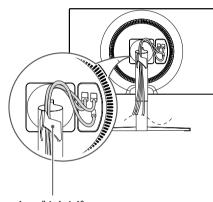




- オートピボット機能はサポートしていません。
- ・Windowsには、表示内容を回転するためのショートカットキーが割り当てられています。この機能を使用すれば、表示内容を簡単に回転できます。 ただし、Windowsのバージョンやグラフィックカードドライバーによっては、ショートカットキーの割り当てが異なっている場合や、サポートされていない場合があります。
- Windowsは、以下のショートカットキーで表示内容を回転できます。
 - -0°:Ctrl + Alt + 上向き矢印(↑)
- -90°:Ctrl + Alt + 左向き矢印(←)
- -180°:Ctrl + Alt + 下向き矢印(↓)
- -270°:Ctrl + Alt + 右向き矢印(→)

ケーブルの整理方法

イラストのようにケーブルホルダーで、ケーブル類をまとめることをお勧めします。



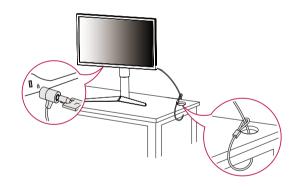
ケーブルホルダー

ケンジントン (Kensington)ロック

ケンジントンロックを利用することにより盗難防止の効果があります。 ケンジントンロック用のスロットは、モニターの底面にあります。 取り付けと使い 方の詳細については、ケンジントンセキュリティシステム付属の取扱説明書を参 照するか、ケンジントン社ホームページをご覧ください。

ケンジントンロックのケーブルでモニターをテーブルに固定します。

ケンジントン社ホームページ: http://www.kensington.com





・ケンジントンロックのお求めは通販サイトを参照いただくか、最寄りのPCショップや家電量販店にお問い合わせください。

壁掛け金具を取り付ける

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具(別売)を取り付けます。

- 1 画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布 を敷いてください。
- 2 スタンド結合面にある4本のネジを反時計回り(左回り)に回して外します。
- 3 モニターの上に壁掛け用プレートを置き、ネジ穴を合わせます。
- 4 ネジ(4箇所)を時計回りに締めて、壁掛け金具をモニターの背面に固定します。

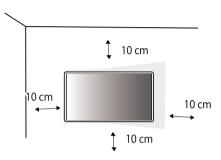


ヒント

- 壁掛け金具は別売りです。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- ・壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ・ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。

壁への取り付け

適切な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具(別売)をモニターの背面に取り付けます。

壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

- 1 ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- 2 VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、 保証の対象外となります。

壁掛け(mm)	100 x 100
標準のネジ	M4 x L10
必要なネジの数	4

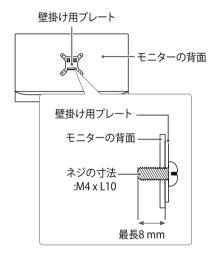


- ・VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。
- ・壁掛けに必要な部品や、マニュアルは壁掛け金具に付属されています。設置 に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- ・壁掛け金具は別売です。お求めはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ・ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と 長さのネジを使用してください。



- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。 ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大なケガをする恐れがあります。
- ・壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ・ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- ・正規品以外の壁掛け金具を使用したり、ネジの締め過ぎ等による損傷は保証 の対象外となりますので注意してください。
- 取り付けの不備による製品の損傷または落下した場合は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。

- ・VESA規格に準拠した壁掛け金具とネジを使用してください。不適切な付属 品の使用、または誤った使用方法による損傷は、本製品の保証の対象外にな ります。
- ・壁掛け用のネジ穴の深さは8mmです。



モニターの接続

・OSDジョイスティックを押し、[Menu] → [入力]の順に選択し、映像が出力される機器に接続した端子を選択します。



注意

- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- ・映像の焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバーなどを使用して、画面に同じ 画像を長時間表示しないでください。



ヒン

- ・電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたは コンセントをで使用ください。
- ・本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- ・画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

PCに接続する

- 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。
- * プラグアンドプレイ:PCに機器を接続して電源をオンにすると、設定や操作をしなくても、PCで認識してOSの標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCとモニターをHDMI端子でデジタル接続します。

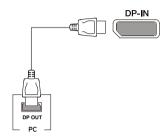


注意

- ・HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- ・HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをで使用ください。 HDMI Licensing LLCで認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応してない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
- ハイスピードHDMI®/™ケーブル
- イーサネット対応ハイスピードHDMI®/TMケーブル

DisplayPort接続

PCとモニターをDisplayPort端子でデジタル接続します。





- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像出力または音声出力に対応していないことがあります。
- ・製品に付属のDisplayPortケーブルを使用していることを確認してください。 それ以外のケーブルの使用は誤作動の原因になることがあります。
- ・弊社推奨品以外のケーブルを使用すると、画面が映らない、画面にノイズが発生など、正常に作動しないことがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合は、DisplayPort-Mini DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。(ケーブル、コネクタは別売です)

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器とモニターをHDMI端子でデジタル接続します。



- ・HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- ・HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをで使用ください。 HDMI Licensing LLC で認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに 対応してない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあり ます。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
- ハイスピードHDMI®/™ケーブル
- イーサネット対応ハイスピードHDMI®/TMケーブル

ヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子(ミニプラグ)に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続 できます。



- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧め します。L字型のコネクタの場合、モニターの筐体と干渉して差しこめなかった り、他の端子をふさいでしまう場合があります。







ストレート タイプ (推奨)

・PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカ 一の機能が制限されることがあります。

ユーザー設定

メインメニューの表示

- 1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックを 押します。
- OSDジョイスティックを前後(▲/▼)、左/右(◄/▶) に倒して各種設定を行います。
- 3 OSDジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



ボタン		メニューの状態	説明
	メイン	メニュー非表示時	メインメニューを表示します。
	メイン	メニュー表示時	メインメニューを終了します。 (長押しするとモニターがオフになります。 OSDを表示している際もオフにできます。)
		メインメニュー非表示時	ヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	[入力]に移動し、画面に表示する入力端子を選択します。
	•	メインメニュー非表示時	ヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	[Menu]に移動し、モニターの各種設定を行います。
		メインメニュー非表示時	画面の明るさを調節します。
		メインメニュー表示時	モニターをオフにします。
		メインメニュー非表示時	画面の明るさを調節します。
	▼	メインメニュー表示時	[ゲーミングモード]に移動し、ゲームに適したモードに素早く切り替えることができます。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明				
入力	長示させる入力端子を選択します。				
電源オフ	モニターをオフにします。				
Menu	モニターの各種設定メニューを表示します。				
ゲーミングモード ピクチャーモード をゲームのジャンルに合わせたモードに変更することができます。					
終了	メインメニューを終了します。				

ユーザー設定

Menu設定

- 1 Menuの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。
- 2 OSDジョイスティックを右 (►) に倒して、[Menu]を選択すると、設定メニューが表示されます。
- 3 OSDジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
- 4 目的の設定項目上でOSDジョイスティックを押すと設定項目の表示や決定ができます。
- 5 設定メニューを終了させる場合は、OSDジョイスティックを左(◆)に数回(設定メニューの階層によります)倒します。











ゲーミングモード

ゲーム機能設定

画像調整

入力

全般

Menu > ゲーミングモード		説明
ゲーマー1		お好みの画質や機能を保存、適用することができます。[ゲーマー1]または[ゲーマー2]を選択後[ゲーム機能設定]、[画質調整]
	ゲーマー 2	を行います。設定された内容はそれぞれを選択すれば適用されます。
	FPS	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗い映像のFPSゲームに最適化されたモードです。
ゲーミングモード RTS		RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	鮮やか	映像をより鮮やかに表示します。
	ブルーライト 低減モード	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、設定メニューで [明るさ] の調節ができます。

Menu > ゲーム機能設定			説明
		オン	動きの速い動画を再生したときに発生するモーションブラー (ブレ)を最小限に抑える機能です。この機能を有効にする前に OS 上で解像度を 1920 x 1080、リフレッシュレートを 120Hz/144Hz に設定することをお勧めします。 この機能は、リフレッシュレートが 120Hz、144Hz に設定されているときに適用可能です。 1ms Motion Blur Reduction をオフにします。
ゲーム機能設定	1ms Motion Blur Reduction	オフ	This motion bit it reduction 23 years.
		1ms Motionこの機能はかゲーム以外の	映像のモーションブラーを軽減するために、バックライトを制御するため、輝度が低下します。 Blur Reduction と FreeSync機能は、同時に使用できません。 デーム用の機能です。 D用途で使用するときは、[オフ]に設定することをお勧めします。 Blur Reduction 操作の間、ちらつきは起こるかもしれない。

ゲーム機能設定	FreeSync	AMD RADEON ™ FreeSync ™ テクノロジー は、映像のフレームレートとモニターのリフレッシュレートを自に同期させる機能です。 フレームレートが一定でない映像(ゲームなど)を表示したときに発生するティアリング(ちらつき)やスタリング(カクつき)を抑えることができます。 ・ この機能を使用するためには、対応APUを搭載したPCまたはGPUを搭載した グラフィックカードが必要です。 ・ FreeSyncはDisplayPort、HDMIいずれも対応します。 ・ 詳細な情報は、AMD社の公式サイトをご覧ください。(検索エンジンで「FreeSync」で検索してAMD社の公式サイトをでてください。) ・ FreeSyncと1ms Motion Blur Reductionは同時に有効することができません。 拡張 「標準」よりも広域なリフレッシュレートで動作します。ただし、ゲームをプレイ中にちらつきが発生する場あります。その場合は、「標準」に設定することをお勧めします。 標準 「FreeSyncをこのモニターの標準的なリフレッシュレートに準ずる範囲で有効にします。		
		オフ	FreeSync をオフにします。	
	ブラック スタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。 [High]/[Middle]/[Low]/[オフ]の4段階で選択できます。 [High]に設定すると、暗い部分が見えやすくなります。[Middle]、[Low]に設定するに従い、明暗の差が大きくなり鮮明な「表示になります。		

			パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。 標準的な環境の場合、[Fast]を使用することをお勧めします。 動きの速い映像の場合、[Faster]を使用することをお勧めします。 [ファストモード]を選択すると、場合によって[動作汚点]は起こるかもしれない。		
		応答速度	Faster	液晶パネルの応答速度を高速にします。	
		Fast 液晶パネルの応答速度を中程度高速にします。		液晶パネルの応答速度を中程度高速にします。	
ゲーム機能設定			Normal	液晶パネルの応答速度をやや高速にします。	
			オフ	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。	
クロスヘア イトルに応じて適したデザインを4種類から選択できます。		on Shooting) ゲームのプレイ用に、画面中央にクロスヘア(十字マーク) を表示します。クロスヘアはゲームタ 一適したデザインを4種類から選択できます。 ・フまたは省電力モードになると、クロスヘア機能は自動的にオフになります。			
		ゲーム機能設定 初期化	[ゲーム機能設定]の設定値を初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目が初期化されますので、ご注意ください。		

Menu > 画像調整		説明			
	明るさ	画面の明るさを	F調整します。		
	コントラスト	画面のコントラ	画面のコントラストを調整します。		
	シャープネス	画面のシャーフ	プさを調整します。		
	ガンマ	モード 1 モード 2 モード 3	ガンマ値を補正します。[モード1]に設定すると中間色が明るく、[モード3]に設定すると中間色を暗く表示されます。		
		モード4	ガンマ設定を調整する必要がない場合は、モード 4 を選択してください。		
		ユーザー設定	[R/G/B]で設定したお好みの色合いで表示します。		
画像調整		Warm[暖色]	画面の色温度を暖色系(より赤い)に設定します。		
		Medium[中間]	画面の色温度を中間に設定します。		
		Cool[寒色]	画面の色温度を寒色系(より青い)に設定します。		
		マニュアル	5000K(ケルビン)から10000Kまで500K単位で色温度を調整できます。(9000K以上は 9000K>9300K>10000Kになります。)。		
R/G/B R(赤)G(緑)B(R(赤)G(緑)B(青)各色の強弱を手動で設定します。		
		6色相環の色合い	八彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。		
	6色相環	色合い	各色の色相を調節します。		
		彩度	各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定すると色味を失いグレーに近い色合いになります。		

	ブラックレベル	モニターで表示できるもっとも暗い色のレベルを調整します。 (HDMI 接続のみ)		
		High	映像信号の情報をそのまま表示します。	
			暗い部分が暗くなり、シャープな色合いで表示されます。	
画像調整	····-	オン	明るさとコントラストを画面に合わせて自動的に調整します。	
	DFC	オフ	[DFC] 機能を無効にします。	
	ピクチャーモード 初期化	[画像調整]の設定値を初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて 期化されますので、ご注意ください。		

Menu > 入力		説明		
入力選択		各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。		
		画面の縦横比を調整します。		
		全画面	映像信号の入力に関係なく、画面全体に表示します。	
		オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。	
入力	アスペクト比	ジ ヒント		
		・本機の推奨解像度(1920 x 1080)で表示している場合は、 [全画面]、[オリジナル] を設定していても、表示される映像は変わりません。		
	自動入力切替	[オン]に設定すると、新たにケーブルを接続したときに、自動的に新しい入力端子に切り替わります。		
		オン	[自動入力切替]を有効にする。	
		オフ	[自動入力切替]を無効にする。	

Menu >	全般		説明	
	言語	OSD メニュー	など、画面に表示される言語を選択します。	
		High	SMART ENERGY SAVING (スマート エナジーセービング) を有効にして、より効果的に消費電力を抑えます。	
		Low	SMART ENERGY SAVING(スマート エナジーセービング)を有効にして、 消費電力を抑えます。	
		オフ	SMART ENERGY SAVING(スマート エナジーセービング)を無効にします。	
	SMART ENERGY SAVING	ציון 🗸		
		1	値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。	
		・[SMART EN する。	ERGY SAVING]の設定が有効になっている場合、ソースの違いによって、モニターの明るさが低くなったり高くなったり	
	電源LED	オン	電源LEDが自動でオンになります。	
	电心にし	オフ	電源LEDをオフにします。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を知らせるため一時点灯します。	
全般	自動スタンバイ	一定時間、表示されている映像に変化がない場合に自動的にモニターの画面をオフにする機能です。自動で画面がオフになるまでの時間を設定します。([オフ]、[4時間後]、[6時間後]、[8時間後])		
		接続した映像にします。	R機器が HDMI2.0 に準拠しない場合、正常に映像が出力されないことがあります。その際はこの機能をオン	
		オン	[HDMI 互換モード] を有効にします。	
	HDMI 互換	オフ	[HDMI 互換モード] を無効にします。	
	モード	ציא ציו		
		・接続した映像機器がHDMI 2.0に準拠しない場合、映像や音声が正常に出力できない可能性があります。		
		・ HDMI 2.0非対応のHDMI端子を搭載している従来のグラフィックカードを使用していても、Windowsのコントロールパネルで HDMI 2.0準拠の解像度と垂直走査周波数を設定することができますが、映像が正常に表示できないことがあります。		
	DisplayPort バージョン	接続機器が準拠するDisplayPortと同じバージョンに設定してください。		

		OSD の設定可能な項目を制限します。		
	オン [OSDロック]を有効にします。			
		オフ [OSDロック]を無効にします。		
全般	OSDロック	とント ・設定可能な項目を制限します。[オン]にしても設定が可能な項目は以下の通りです。 - [画像調整] > [明るさ] - [入力] - [全般] > [OSDロック]/[表示情報] 上記以外の項目を設定するときは、[OSDロック] をオフにしてください。		
	表示情報	表示情報には、電源投入時間合計、解像度が表示されます。		
	初期化	初期設定(工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意くだ さい。		

困ったとき

画面に何も表示されない	
画面に何も映らない	・電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。・モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	・接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
電源ランプが点滅している	 PCがスリープモードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PCの省電力モードを解除してください。 PCの電源が入っているか確認してください。
画面に[推奨解像度での表示をおすすめします。映像がちらついたり、画面が正常に表示されない場合は、取扱説明書の「困ったとき」を確認してください。] と表示される	 PC(グラフィックカード)から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合に表示されます。 本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、OS上で適切なリフレッシュレート(垂直走査周波数)と解像度を設定してください。 変更方法は次ページのヒントを参照してください。
画面に [信号が見つかりません 。]と表示される	・信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PCまたはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 ・入力端子が正しく選択されていない可能性があります。OSDジョイスティックを押してから左に倒して[入力]を選択して映像が出力されている端子になっているかを確認してください。
OS上でモニターがうまく認識しない	・弊社のウェブサイト(www.lg.com/jp)からディスプレイのドライバーをインストールすることを確認してください。・グラフィックカードがプラグアンドプレイに対応しているか確認してください。
映像が正常に表示されない	・接続したグラフィックカードの映像出力端子がHDMI 2.0またはDisplayPort1.2に準拠しているか確認してください。グラフィックカードの映像出力端子が、それぞれの規格に対応していない場合は、下記のとおり設定してください。 HDMI接続:OSDメニューを[Menu]>[全般]の順に選択し、[HDMI互換モード]を[オン]に設定します。 DisplayPort接続:OSDメニューを[Menu]>[全般]の順に選択し、[DisplayPort 1.2]を[使用しない]に設定します。

画面に残像が生じる

モニターの電源を切っても残像が見 える

- 静止画映像を長時間表示すると、画面に焼きつき、残像が生じることがあります。
- ・モニターの映像を長時間使用する場合は、OSでスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される

画面がちらつく

・選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース) の場合、画面がちらつくことがあります。 解像度を1080pまたは 推奨解像度に変更してください。



- ・垂直走査周波数:映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1 秒間で画面が切り替わる回数を「垂直走査周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位はHz です。
- 水平走査周波数: 横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを垂直走査周波数と呼びます。単位はkHzです。
- ・OS(オペレーティングシステム)上で、グラフィックカードの解像度またはリフレッシュレート(垂直走査周波数)がモニターの許容範囲内かを確認し、推奨される(最適な)解像度に設定してください。

解像度: 以下の順に選択し、メニュー内の解像度を変更します。

- Windows 7: [コントロールパネル] > [画像の解像度の設定]
- Windows 10:[設定]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]

垂直走査周波数:以下の順に選択し、メニュー内の**画面のリフレッシュレート**を変更します。

- Windows 7: [コントロールパネル] > [画像の解像度の設定] > [詳細設定] > [モニター]タブ
- Windows 10: 「設定」>「システム」>「ディスプレイ]>「ディスプレイの詳細設定」>「アダプターのプロパティを表示」>「モニター」タブ
- *選択手順はOSのバージョンによって異なる場合があります。
- ・グラフィックカードを推奨される(最適な)解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- ・調整の手順は、お使いのPCまたはOSによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、PCまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
- PCやグラフィックカードによっては、解像度 1920 x 1080 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、グラフィックカードのデバイスドライバを最新に更新するか、グラフィックカードの取扱説明書やホームページで解像度の対応状況を確認するか、PCまたはグラフィックカードメーカーにお問い合わせください。

画面の色が正常ではない	
色が正常に表示されない	 信号ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。 グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してください。 グラフィックカードの確認をする際は必ずPC の電源をコンセントから抜いて確認してください。 [コントロールパネル] > [画面] > [Menu] (OS によって異なります)から、OS 上の表示色を24bit または32bit のTrue Color に設定してください。
画面上に小さな点が表示される	・液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け (ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点) が見える ことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

音声が出力されない	
ヘッドホン端子に接続した音声機器から音声が出力されない(音が聞こえない)	 OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。 PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [サウンド] の順に選択して、モニターを既定のデバイスとして設定します。 ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正常に接続されていることを確認してください。 WindowsやPC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してください。 変換コネクタでPCのDVI端子と接続している場合は、DVI端子が音声信号の伝送に対応していないため、音声は出力できません。

一部のOSDメニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	・OSDがロックされています。[Menu] > [全般]の順に選択し、[OSDロック]を[オフ]に設定します。

製品仕様

LCD画面	カラー階調	8ビットカラーがサポー	トされています。	
解像度	最大解像度	1920 x 1080 @ 144 Hz		
	推奨解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz		
電源	電源定格	19 V = 2.0 A または 1	9 V 1.6 A	
	消費電力	動作モード: 30 W (標準)* スリープモード: ≤ 0.3 W** オフモード: ≤ 0.3 W		
AC/DCアダプター	ADS-45SN-19-3 19040G、SHENZHEN HONOR ELECTRONIC製 LCAP21C、LIEN CHANG ELECTRONIC ENTERPRISE製 出力:19 V === 2.1 A			
	ADS-40SG-19-3 19032G、SHENZHEN HONOR ELECTRONIC製 ADS-45SQ-19-3 19032E、SHENZHEN HONOR ELECTRONIC製 LCAP21A、LIEN CHANG ELECTRONIC ENTERPRISE製 出力:19 V === 1.7 A			
環境条件	動作条件	温度	0~40 °C	
		湿度	80%未満	
	保管条件	温度	-20~60 °C	
		湿度	85 %未満	
寸法	モニターサイズ (幅 x 高さ x 奥行)			
	スタンド装着時	556.8 x 558.2 x 274.4 (mm)		
	スタンドなし	556.8 x 333.8 x 41.2 (mm)		

重量(パッケージを除く)	スタンド装着時	4.9 kg
	スタンドなし	3.0 kg

仕様は製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。

消費電力は操作条件や設定等によって変わります。

- *オンモードの電力消費は、LG Electronicsの 試験規格(最大解像度で白を画面全体に出力した状態)で測定されます。
- ** 映像が信号を受信していないときに、一定の時間が経過(最大5分)すると、モニターはスリープモードになります。

工場出荷時モード

(プリセットモード、HDMI/DisplayPort PC)

プリセットモード	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)	極性(H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	+/-	
800 x 600	76.302	120	+/-	
1024 x 768	97.551	120	+/-	
1280 x 1024	63.194	59.96	+/-	
1280 x 1024	130.035	119.96	+/-	
1920 x 1080	137.26	119.98	+/-	
1920 x 1080	67.50	60	+/+	
1920 x 1080	84.36	74.99	+/+	
1920 x 1080	113.22	99.93	-/-	
1920 x 1080	166.59	143.98	+/-	

使っている輸入タイミングがサポートされた周波数を超える場合、悪い応答スピードまたは画質を体験する恐れがある。

HDMIタイミング(動画)

工場出荷時対応モード (プリセットモード)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	備考
480p	31.5	60	
576P	31.25	50	
720p	37.5	50	
720p	45	60	
1080p	56.25	50	
1080p	67.5	60	
1080p	112.5	100	
1080p	135	120	

電源LED

モード	LEDの色
オンモード	赤色(数秒間)
スリープモード	オフ
オフモード	オフ



製品のモデルとシリアルナンバーは製品の背面と側面にあります。サービスの場合に必要があるからそれらを記録してください。

モデル______ 製造番号______